

## 事業&活動報告

### 千葉市民活動フェスタinきぼーる無事終了

#### ■ きぼーるで再び開催

恒例の「千葉市民活動フェスタ」が11月16日(土)17日(日)の両日開催されました。昨年は美術館でしたが、今年は会場を再びきぼーるに戻しての開催。69の団体や施設が展示・体験・ステージなど多彩に展開しました。

中央区役所がきぼーるに移転し、館内の配置や使用制限などに変更もありましたが、実行委員をはじめ参加団体の意欲が高く、意義あるフェスタが実現できました。初参加の団体が増えている点も注目したいと思います。



#### ■ 新委員、新企画

フェスタは実行委員会の企画で行われます。登録団体メンバーや個人の方で意欲ある方によって実行委員会が組織されますが、今回は若い委員の参加により、経験者の意見と新たな視点とが融合し活気ある会議となりました。

2つの実行委員会新企画が行われましたが「子どもの夢かなえます」では中学生がステージを賑わせ、「団体インタビュー」は映像の活用など新たな試みを交えて、多くの関心を集めました。

「参加団体交流会」は年々参加数が増え、連携のきっかけも生まれています。初参加の方から「来てよかった」の声が聴けました。



今年はサテライト会場として千葉市民活動支援センターにプラレールを設置。こちらでは、大人も子どもも目を輝かせていましたが、別会場(サテライト)への誘導は今後の課題です。



#### ■ 御礼&次回へのお願い

記録写真の撮影に今年も全日本写真連盟千葉支部のご協力をいただきました。千葉大インターンシップの学生さん、センターのサポーターの方、またShake Handsからのボランティアにも御礼申し上げます。実行委員だけでなく参加団体全体で創り上げていくのがフェスタの醍醐味です。次回に向けて、団体や個人の得意分野を生かし、ぜひいろいろな力をお貸しください。



ミニコラム

## ちばさぽの風 vol.35

### 休眠預金等活用制度がいよいよスタート!

本コラムのvol.22で採り上げた休眠預金の活用ですが、昨年の11月末から、制度の運用が本格的にスタートしました。具体的には、①子ども・若者の支援、②生活上の困難を有する方の支援、③活力の低下など困難な状況にある地域の支援、等の活動をしている民間団体への助成が行われることになりました。助成と聞いて「私たちの団体も応募したい」と思った方も多いでしょう。そこで、募集情報の調べ方などをご紹介します。

まず基本的な情報は、“指定活用団体”なるものに指定された「日本民間公益活動連携機構(JANPIA)」のホームページ (<https://www.janpia.or.jp/>) に、順次掲載されていきます。実際の募集元は、“資金分配団体”と呼ばれる22の団体となり、各資金分配団体が異なる条件(対象事業、対象地域、スケジュール、助成金額等)のもと、“実行団体(=事業を行う団体)”を募集します。つまり詳しくは、

募集元が公表する“公募要領”を確認する必要があります。

ちなみに、現時点(12月12日)で8団体の募集情報が公開されていましたが、応募締切は大半が1月下旬。また、公募要領は20頁以上あるものがほとんどで、決してわかりやすいとは言えないものも散見されますし、申請書類の種類の多さや作成の難易度を考えると(難易度が高いのは当然ではありますが)、個人的には、応募のハードルはかなり高いという印象をもちました。

ですが、休眠預金等活用制度は始まったばかりです。助成事業の募集は毎年行われるようですし、2023年には、制度自体を抜本的に見直す予定もあるそうなので、今後の動きに注目したいと思います。(は)

